

「2018年度 第2回 明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会」における主な意見と回答

No	主な意見	回答
(1)	明石公園のバリアフリー化は、史跡に指定されており難しい面もあると思うが、ソフト・ハード両面から進めてほしい。明石公園の歴史と自然を生かして、匂いや触って楽しむことを取り入れてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 現在、明石城跡の保存と活用の基本方針となる「史跡明石城跡保存活用計画」の策定を進めており、その計画の中で、バリアフリー化に資する取組について記載する方向で検討をしております。また、明石公園の歴史と自然を生かした魅力向上のための取組を推進してまいります。(兵庫県)
(2)	明石市中心市街地活性化協議会でもユニバーサルデザインの進め方や考え方を共有し、本計画と連携してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 明石市中心市街地活性化計画策定においては、現在取り組んでいる本協議会の取組を踏まえ、計画策定を進めるよう連携を図ってまいります。(明石市)
(3)	パピオス明石、ピオレ明石、アスピア明石の3店舗で、駅周辺のトイレマップを作成した。また、ユニバーサルマナー検定の実施、デジタルサイネージや点字の施設案内の設置も検討している。	<ul style="list-style-type: none"> 3店舗のトイレマップや施設案内の改善について、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画」の取組施策として位置づけました。(明石市)
(4)	障害の体験が出来る場では、肢体、聴覚や視覚障害の体験は多いが、知的・精神・発達障害の体験は少ないため、これらの体験機会も設けてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 市職員や市民等を対象とした障害理解研修において、対象者に応じて、知的・精神・発達障害を含め、各障害の特性・多様性の理解につながるよう工夫し、開催します。(明石市)
(5)	音響信号の鳴き交わしのルールはあるのか。出来れば、南北・東西等、方向別で区分してほしい。併せて、障害当事者のまちの困り事については、実際に当事者と現場を見て、対策を検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 音響信号機に関しましては、本年3月末に警察庁交通局から設置、運用指針の通知が出され、今後は、異種鳴き交わり方式に逐次統一することとなりました。よって、本件につきましても、新設・改良の際には、道路の幅の長短、主道路・従道路による、異種鳴き交わり方式に統一することとなります。(明石警察署) まちあるきを開催時には、当事者と共に歩き、まちの課題を考えていきます。(明石市)
(6)	明石市交通バリアフリー基本構想の進捗について、明石駅などは整備完了との記載があるが、年数が経つと街の様子も変わるため、その都度対応してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、明石市交通バリアフリー基本構想の進捗やまちの変化を踏まえ、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画(仮称)」の策定・見直しを進めていきます。来年度以降についても、引き続き多様な意見をいただきながら、実行計画の評価・見直しを継続的に行ってまいります。(明石市)
(7)	誰もが気持ちよく買い物ができるように、商店や店舗のスタッフに対して、各障害の特性・多様性の理解につながる研修の機会を設けてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画」の取組施策として位置付けている、「ユニバーサルマナー検定」を平成28年から民間事業者等を対象に開催してきました。今後、より多くの民間事業者等に参加頂けるよう、取組を拡充してまいります。(明石市)